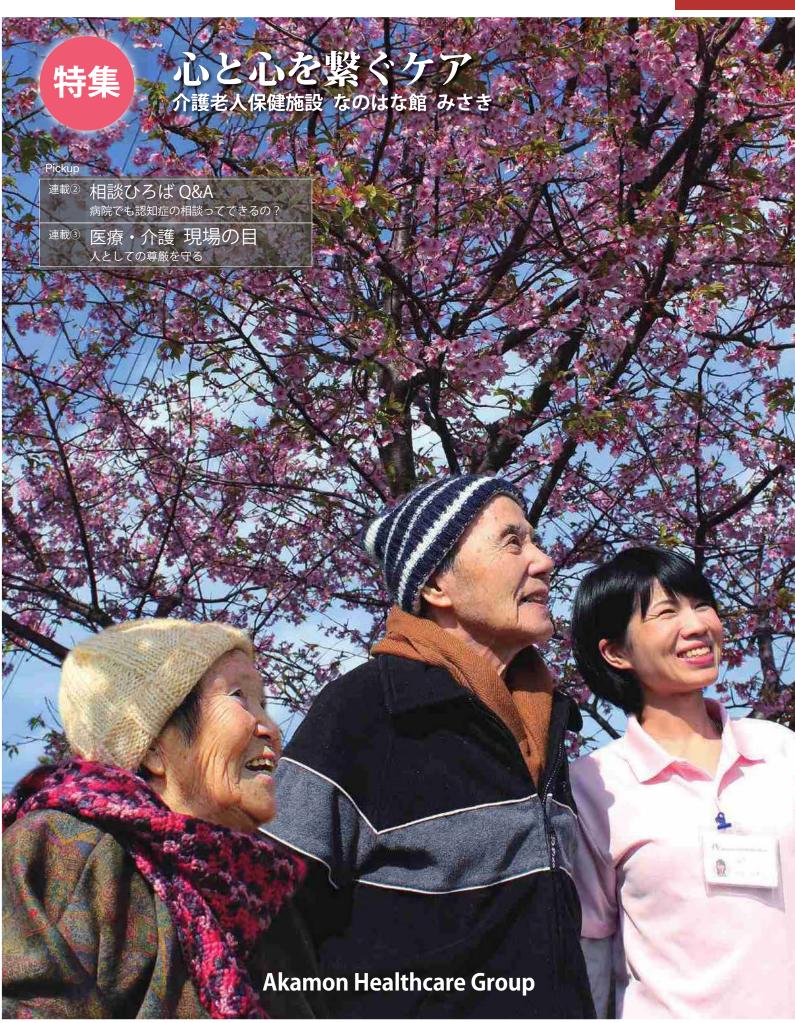
赤門だより

その人らしい暮らしを支える

医療と介護で地域に根差す 赤門ヘルスケアグループ【季刊広報誌】 47 vol. 47



12 12 12 11

この一枚

赤門ヘルスケアグループ 事業所

覧

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成28年4月時点)

イベントNEWS

10

連載④

10

9

連載②

9

8

3

 $(3 \sim 8)$

特集 心と心を繋ぐケア

介護老人保健施設

なのはな館

みさき

赤門ニュース

連載①

認知症~暮らし

第 3 回 認知症の方への支援「その人らしく暮らせるように」 寄り添う

管理者·介護支援専門員 原田 春美 認知症対応型共同生活介護施設 グループホーム神明町ガーデン

相談ひろばQ&A 「病院でも認知症の相談ってできるの?」

赤門整形外科内科 医療相談員 石井 弘子

連載③ 医療・介護 現場の目

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

人としての尊厳を守る

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

施設長

髙木

晴代

簡単 「豕リハ いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう!!

VI5「座ってできる転倒予防体操

介護老人保健施設 なのはな館 みさき 理学療法士 伊東 奈美 作業療法士 野崎 孝伸



「赤門だより」は、赤門整形外科内科を中心とする赤門ヘルスケアグループ (医療法人社団 慶勝会および株式会社ケアサービス・ 行の季刊広報誌です。

当グループは、明治21年(1888年)「赤門鈴木医院」の開院以来、館山・南 房総を中心に皆様方のご支援を受けて、医療・介護に取り組んで参りました。 また地域でも早くから認知症対策に力を注いで参りました。これからも「その 人らしい暮らしを支える」の理念の下、地域の皆様に貢献するべく絶えず邁進 して参ります。

【赤門の由来】

江戸時代に南部藩(現在の盛岡)の御常宿として 通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は交易 の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、

上には高張り(庇)を 許されました。

この朱塗りの門すな わち *赤門、が名称の 由来として今日まで継 承されています。





特集

心と心を繋ぐケア

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

開設19年を迎えた介護老人保健施設 なのはな館 みさきでは、平成27年9月に認知症専門棟である2階の改装工事を行いました。利用者様やご家族の思いを最大限に尊重し、心に寄り添い、その人らしい未来へ繋いで行く事業所の取り組みをご紹介します。

◉施設概要

名 称:介護老人保健施設 なのはな館 みさき

提供サービス:入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

事業所番号: 1253680014

開設年月日:平成9年10月24日

定 員:入所119床・通所35名

住 所: 〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1

TEL: 0470-29-2700 FAX: 0470-29-2777

URL: http://www.keishokai.or.jp



なのはな館 みさき 認知症専門棟リニューアル

明るさや色合いなど、 利用者様お一人おひとりの暮らしの歴史を大切にした、 より認知症に配慮した空間へと改装された認知症専門棟。 専門的ケアを提供しています。



明るく過ごしやすい空間

が多く聞かれるようになりました。 様からも「すごく明るいね」との声 色のバランスを整える事で、利用者 なおかつ生活感を損なわないように が落ち着くとされる暖色系を選び、 着目しました。壁や床は認知症の方 トレスが密接に結びついている事に にあたり、認知症の症状は環境とス アルした2階の認知症専門棟。 昨年9月、改装工事によりリニュー また、心拍が落ち着きストレスか 改装

> を植えました。 ランダには薄緑の美しい葉と軽やか のある環境、を取り入れ、食堂のべ らの回復効果があると言われる、緑 な樹形が魅力的な「シマトネリコ」

生まれ変わりました。 を守り、明るく過ごしやすい空間に しています。 療養室の床にはクッション材を入 転倒した際の骨折リスクを軽減 利用者様の安全と安心



ベランダに植えた「シマトネリコの木」



うに、施設が決めた時間割ではなく 作業で汗をかいたらそのままお風呂 人ひとりの暮らしの歴史を大切に 個性を発揮できるように支援す 利用者様にとっては当 このよ 畑

誰もが主役

ています。 プ毎の特性に合わせたケアを実施し 行事への参加方法を工夫し、グルー な支援の一つです。その上で様々な が間に入り、橋渡しを行う事も大切 い時間を過ごせるように、私達職員 性格や趣味などの合う方同士が楽し 合わせたグループ分けを行います。 ける不安や混乱を抑え、安心できる 生活を送っていただくため、症状に 利用者様に周囲との関係作りに

を引き出す事に重点を置いています。 難な方でも、好きな音楽が流れると す。重度の認知症で意思の疎通が困 を以前と同じようにできる方もいま 主役になれるよう利用者様の可能性 上手に歌い出す方もいます。 環境を整えれば、昔行っていた事 誰もが

楽しみながら季節を感じてもらう。ひな祭り行事での一枚。年間の行事を通じて、

介護老人保健施設とは

介護の必要な高齢者の自 立支援と家庭復帰を目標 に、医師や看護、介護、 リハビリスタッフ、管理栄 養士などによる専門サー ビスを提供する施設。本人 の心身や住居の問題によ 自宅での生活に不安 がある、または骨折や脳 梗塞など様々な理由で入 院した後も安全に安心し て自宅で過ごしたい、そ うした方々を対象に身体 機能の回復や維持につな げる。医療機関と自宅と の中間施設とも呼ばれる。



症専門棟のケア

利用者様の抱える思いや不安に寄り添い、 専門的なアプローチで「心と心が繋がる」関係を築いていくのです。 内なるメッセージを受け止めながら、

言葉にできない不安に寄り添う

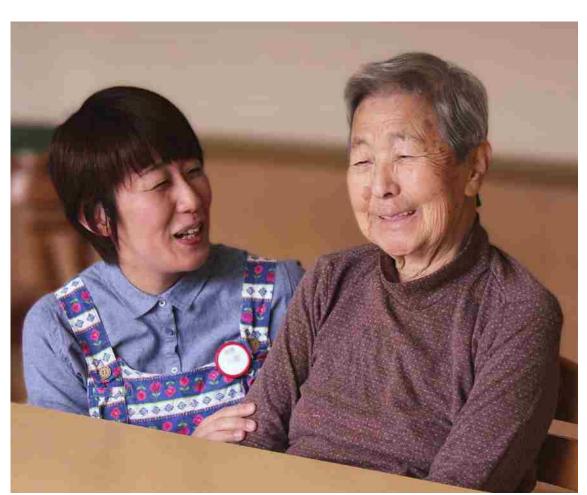
では、 更に強めてしまう場合も多いです。 見つけられない事があり、解決でき 問が沸いても自ら答えを探す方法が 置かれている状況が理解できず、疑 てもらおうと働きかけても、混乱を ないまま、混乱へ引き寄せられてい に不安と孤独の中にいます。自身の 認知症の方は、 私達はどうすればいいので 周囲がいくら答えを理解し 脳の病気により常

それは難しい事ではなく、否定せ

その方が興味がある事、得意な事を引き出し積極的に取り組んでもらう。

切です。認知症の方も、この人なら ず、不安に寄り添おうとする心が大 できる専門性が、 を引き出す人間性、キャッチし分析 達です。心の奥底に眠るメッセージ 止められる人が、認知症専門棟の私 す。そのメッセージを見逃さず受け くても、身体や行動で表現していま 探しています。言葉では伝えられな や苛立ちを受け止めてくれる相手を 聞いてくれるのではないか…と不安 私達には同時に求

められています。



安心して生活を送っていただくため、さりげないスキンシップもケアの一つとして全職員が行っている。



心と心が繋がる時

身体面、 が今まで生きてきた過程まで遡らな ぞれ異なる不安を知るには、その方 知症の方は理解できずに負担になる を知る事で、意欲を沸かせるような ければ見えてきません。その方自身 精神面へのアプローチです。人それ 事もあります。必ず中心となるのは ようとただ闇雲に働きかけても、認 ます。但し、活動量や水分量を上げ 症の症状を悪化させる事も多くあり などが引き起こす身体症状が、認知 から、何が原因かを探っていきます。 として捉えるのではなく、精神面で あった時には、その一点だけを問題 運動不足や、食事・水分量の低下 利用者様の状態や行動に変化が 環境面における様々な角度

と心を繋ぎ、利用者様と職員との関 そうした一つ一つの積み重ねが心 れるのかが見えてきます。

働きかけや、何により安心感が得ら



れる姿。

係が生まれていきます。

の要になると考えます。 生活、より良い人生を続けていく事 認知症の方の心を支え、より豊かな 利用者様のその時々の感情を受け 気持ちに寄り添うケアこそ、



体調や今の状態を確かめる。ゆっくりと食事を楽しみながら、 利用者様の

すために、

びを得られる素晴らしい仕事です。

その感謝の

気持ちを表 多くの学

介護士は利用者様やご家族の笑顔に励まされ、

私たちが行うべきケアです

その人らしい人生を未来に繋いでいくための援助

今後もより良いケアを目指します。 館 山市地域包括支援センターいちご開設

過去、

現 在

未来を繋ぐ

けではありません。

その人の残された能力、

できる事の可

、から

本的なケアであると思われがちですが、

本来の役割はそれだ

私たち介護士の仕事は、

食事

排泄・

入浴

の三大介護

が基

性に着目し日々の三大介護の中で信頼関係を築いていく

利用者様の本当に求めている事も見えてきます

の本質とは、 生活と人生を支える事

介護主任 介護老人保健施設 地引 なのはな館

Information

NEWS

地域を支える新たな力

あります。

利用者様、

ご家族の生き方や思いを最大限に尊

人それぞれ歩んできた人生背景

を向けます。

家族を大切にしてきた方、

仕事を一

生懸命

そうならないためには、

今まで培ってきた人生にも目

と勘違いして押し付けのケアをしてしまう可能性がありま

時として私たち職員の理想を「利用者様が望んでいる事

頑張ってこられた方等、

可欠です。

自分の力だけでは思う様に生きられなくなっ

どのような援助を求めているか捉える事が不

ご本人にとって不本意な状況とな

ている場合、

病気や認知症になり、

不安や葛藤、

喪失感は計り知れません

医療法人社団慶勝会は平成28年4月1日、館山市の委託により館山市 地域包括支援センター『いちご』を安布里地区に開設しました。地域 包括支援センターは、特に地域の高齢者やその家族を対象に、主に介 護予防事業や権利擁護、認知症の普及活動など目的に全国の自治体で 設けられ、館山市でも、平成18年度より同センター『たてやま』『な のはな』の2拠点が全地区を担当してきました。しかし当初年間3,000 件程だった相談件数もこの10年で4倍に増加。高齢化や認知症など様々 な課題によりきめ細かく対応すべく『いちご』が3拠点目として開設 され、豊房・館野・九重地区担当となりました。地域を支援する新た な力として、保健医療の向上や介護・福祉の増進など担います。





医療法人社団 慶勝会 館山市地域包括支援センターいちご 上野 澄子 管理者・保健師

信頼と親しみ感じる『いちご』を目指して」 「身近で、

これまで33年間、館山市の保健師として地域に携わってきましたが、 この度管理者に就任しました。地域包括支援センターは、高齢者など に対し、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の専門職が連携し て介護や医療、福祉など様々な支援を行う事業所です。豊房・館野・ 九重は高齢化率も高く、また独り住まいの高齢者も多い地区ですので、 より身近で、より信頼と親しみを感じていただける事業所を目指した いと思っています。これまでの経験で得られた、地域で支え合う環境 づくりや介護予防事業の充実等、『いちご』が担うべき重要な役割と 捉え精一杯努めていく所存です。



館山市地域包括支援センターいちご 館山市安布里 237-3

TEL.0470-28-4115

【営業時間】月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00



8

連載

認知症~暮らし・寄り添う

病院でも認知症の相談ってできるの?

「認知症外来」「もの忘れ外来」

第3回 認知症の方への支援「その人らしく暮らせるように



グループホーム神明町ガーデン 認知症対応型共同生活介護施設 管理者・介護支援専門員 原田

春美

不調やご自分の思っている事を伝えるのも難しくなりますが、 認知症は、進行によりできない事、判らなくなる事が増えていきます。 グループホーム神明町ガーデンで、人生の大先輩の方々の生活支援をしております。 進行の仕方は人 体の

のだろうと思いを巡らせ、ゆったりとしたペースで向き合う、手を握り、 な時は「その人が今までどんな人生を送ってきたか」を重視し、 に、イライラして大きな声が出たり、強い力で手を握るなどありますが、そん 健康チェックを行い医療職とも連携します。望んでいる事を上手く伝えられず り、台所に入って料理をしたり、食器洗いもできます。また、体調の悪い時は、 表情や歩行の様子、椅子に座っている姿勢等で「いつもと違う」を感じ取り、 グループホームでは、 職員がご本人のできる事を見つけ支援することによ 何が伝えたい 目を

もに、 利用者様の架け橋となるように努めて 活の様子をご家族にお知らせするとと お預かりしている事を念頭に置き、生 あります。ご家族にとって大切な方を として、家族ではないからできる事も くなったり厳しくなったりと変わりま の接し方次第で入居者様の表情は優し ね」が伝わるように対応します。職員 合わせ「私が理解するから安心して 私たち職員は、認知症介護のプロ 年4回季刊誌を発行し、 家族と



ている。 けや色合いに気を配りながら、職員と共に行っ 日々の食事の準備も、 利用者様自身が盛り付

【グループホーム総合相談窓口】 080-8758-9396

私がお答え します。 石井 弘子 生活上の障害を軽減することができます。また、 等を掲げている病院でも相談することができます。 ▲ かかりつけ医や、 ■早い時期に受診することのメリット 認知症という病気を正しく理解し適切な対応を行うことで、

い生き方を全うすることが可能となります

受診の内容

患者様やご家族様とコミュニケーションをとりながら、

必要に応じて画像検査な

医療相談員

_ 赤門整形外科内科 を受け適切な薬を使用することでも進行を遅らせることがで

家との繋がりを持つことにより認知症であってもその人らし きます。そのため早期発見、

早期治療が非常に重要で、

医師の処方

どを実施し確定診断を行います。 憶・知能などに関する検査を行い、 「今聞いて欲しいことに、今対応できる」体制

せるきっかけになるのではないでしょうか。患者様やご家族 なことでも相談することは、何か治療の手がかりを見つけ出 ないことが無いかを見逃さないよう配慮します。どんな些細 は、話された内容の他、ご自身でも気づかず表面化されてい 電話でのご相談をお受けしています。相談をお伺いする時 方はいらっしゃいませんか? 赤門整形では、受診前でもお あったり、お仕事の都合で、直ぐに受診が難しいとお困りの 「最近、ちょっと様子が違うな」と気づかれても、遠方で

には、認知症外来をご紹介いたします。 ずは受診をお勧めいたしますが、定期的な診療を希望する方 て受診できるよう医師へ繋ぐ援助をさせていただきます。 の疑問に応え不安を軽減し、相違ない信頼関係の下、

赤門整形外科内科 認知症外来 0470-22-0008 とは別室でのご案内につき、安心して診療いただけます。 毎月第一・第三火曜午前中(予約制) ※一般外来の患者様

連載

医療・介護 現場の

3

患者様や利用者様、ご家族とのコミュニケーションで大事にする事は?

現場スタッフが一番大切にする接し方、目を向けるポイントを語ります。

心掛けていること

平成2年4月から

ちました。

就任前は

「なのは

な館

の

施設長に就任し1

が

都内の病院で麻酔科医勤務を経て、



なのはな館 みさき なぎさ

髙木

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 介護老人保健施設

の展望

心が通じ合う医療や介護の現場になると思うからです。

目線を一緒にすることで利用者様が安心

が狭くなりますが、

ている方もベットで横になっている方も同じ目線の高さを保

笑顔で接することを心掛けています。

高齢になると視野

利用者様とコミュニケーションを取る時は、

車

·椅子を利用

きたいと考えています。 たご家族を理解し、今まで以上に笑顔の絶えない施設にして行 用者様のこれまでの人生を尊重し、 据え、自分自身の心を強く持って進む事が大切と考えます。 **大切な心があります。医療や介護が目指す理念をしっかりと見** 医療も介護も同じですが、「人としての尊厳を守る」という 今まで生活を支えて来られ

とって

皆さんと一緒に利用者様へのサービス向上に努めております。

など新たな環境となりましたが、

をしてきました。

復と維持に努めることの大切さと大変さを感じています。 間に過ぎた1年でした。利用者様の在宅復帰を目指し、 栄養士を含め様々な職種の職員に支えられながら、 各科医師・看護師・介護支援専門員 介護士・セラピスト あっという 機能回

運載

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう!!

15 年 ほ 年

vol.5 座ってできる転倒予防体操

ど前から生まれ育った館山市内の地域密着の病院で麻酔科勤務

医療だけではなく介護やリハビリテーション

今までの経験を生かし職員の

足関節の柔軟性の維持

段差につまずいたり、つま先を引っかけ転倒しそうになったことはありません か?筋力や筋の柔軟性の低下により足首の動きが悪くなると、つま先が上げず らく、すり足になり、障害物につまずきやすくなります。また転倒による骨折 は、介護が必要な生活となる危険性もあります。転倒予防には足首の動きが重 要となるため、今回は座ってできる足首の転倒予防体操をご紹介します。

専門スタッフが自宅で手軽に できるリハビリメニューをご紹介





介護老人保健施設 なのはな館 みさき 理学療法士 作業療法士 伊東 奈美 野崎 孝伸



① 両足同時に行います。足首を矢 印の方向へ交互に動かします。 ※右の図参照



② 足首の拡大図



左右順番に行います。つま先に タオルを引っかけ、ふくらはぎ を伸ばします。

いかがでしたか?

順番などはお好みで、回数もご自身の体調に合わせ、無理のない範囲でお試しください。 ※日常生活で痛みや問題が生じている場合は、専門の整形外科などにご相談を。



平成 28 年 2 月 28 日(日)

地域の集会所で認知症講座

昨年より当法人の介護施設で行ってきた無料講座です が、今回初めて地域の集会所をお借りして開催しまし た。館山市神明町地区の青年館に地元の方々にお集ま りいただき、「認知症の方を地域で見守る社会で支える」 をテーマに、専門職である介護福祉士が講義を行いま した。質疑応答では、介護の悩みや日常の困り事につ いて参加者同士で積極的に意見交換する場面もあり、 参加者からは「認知症の症状や相談先を知る事ができ た」「他の参加者の話が聞けて良かった」などの声も寄 せられました。今年に入り地域の小学校でも開催しま したが、今後もより地域に密着した活動を行っていく 予定です。



各施設の日々の様子やその他情報は、ホームページでもご紹介しています。

医療法人社団 慶勝会 慶勝会 検索 🗞 株式会社ケアサービス・まきの実 まきの実 検索 🗞

~節分の行事~ (デイホーム安布里)



太巻き寿司作り、豆まき、輪投げゲームと盛りだくさんで笑 顔溢れる節分になりました。

~道の駅「三芳村」鄙の里~ (グループホーム堂の下ガーデン)



地元で人気の観光スポットにおでかけしました。テラスにて 職員の手作り弁当を食べた後、買い物を楽しみました。

~100歳のお祝い~

(グループホーム広瀬ガーデン)



100歳を迎え内閣総理大臣よりお祝い状と記念品をいただきま した。皆で飾りを準備し、手作りケーキでお祝いしました。

~桜餅風餡包みを作りました~ (グループホーム広瀬ガーデン)



ホットプレートで桜餅の皮を焼き、焼きたての皮に餡を包み 皆で美味しくいただきました。

●詳しくはホームページの**「新着情報」**をご覧ください。

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成28年4月時点)

診療時間 月~金 (午前) 9:00~12:00 (午後) 14:00~18:00

土曜日 (午前) 9:00~12:00 (午後) 14:00~17:00

リハビリテーション 月~金 8:30~19:00

土曜日 8:30~17:00

外来受付時間 月~金 8:30~18:00

土曜日 8:30~17:00

休診日 日・祝・祭日、年末年始 (12月30日~1月3日)



最新の外来予定は こちらのQRコード からご確認いただ けます。



救急告示診療所·労災指定·生活保護法指定·原爆医療指定·公害·特定疾患·身体障害者福祉法指定医

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

●● 医療法人社団 慶勝会

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼1619 TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1 TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条2832 TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4 TEL.0470-24-3113 FAX.0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4 TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1 TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604 TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-3 TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階 TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

●●株式会社ケアサービス・まきの実

グループホーム堂の下ガーデン

〒294-0056 千葉県館山市船形827-11 TEL&FAX.0470-20-5228

グループホーム神明町ガーデン

〒294-0045 千葉県館山市北条1173-6 TEL&FAX.0470-24-5075

グループホーム広瀬ガーデン

〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1 TEL.0470-20-6221 FAX.0470-36-1022

グループホームやつかガーデン

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL.0470-33-3113 FAX.0470-33-3114

グループホーム相浜ガーデン

〒294-0235 千葉県館山市相浜75-1 TEL.0470-20-7511 FAX.0470-28-3588

グループホーム安布里ガーデン

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL.0470-29-5146 FAX.0470-29-5147

デイサービス安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL.0470-25-5766 FAX.0470-24-3090

デイホーム柏崎

〒294-0034 千葉県館山市沼1627-2 TEL.0470-25-5337 FAX.0470-22-8101

デイホーム西の浜

〒294-0034 千葉県館山市沼865 TEL.0470-23-3319 FAX.0470-23-3392

デイホームやつか

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL.0470-33-3113 FAX.0470-33-3114

デイホーム安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL.0470-29-5367 FAX.0470-24-3090

福祉用具貸与・販売、生活支援(すりーえす)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL.0470-28-4025 FAX.0470-29-5211

介護タクシー(介護タクシー・まきの実)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL.0470-29-5210/080-8809-8881

本 部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1-2階 TEL.0470-30-8488 FAX.0470-29-5206



[この一枚]

近所の河津桜を見に散歩に出かけた時のワンカット。利用者様が「桜は嘘をつかないなあ、必ず1年に1回花をつける。人間も見習わなきゃいけないね」とお話ししておられました。



赤門ヘルスケアグループ 季刊広報誌「赤門だより」通巻47号 (医療法人社団 慶勝会/株式会社ケアサービス・まきの実 共同発行)

発行・責任:「赤門だより」編集発行室 〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階

TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301 医療法人社団 慶勝会 http://www.keishokai.or.jp

株式会社ケアサービス・まきの実 http://www.makinomi.co.jp

発行日:平成28年4月15日(年4回発行) 編集・印刷・写真:管理部 総合企画